

第 1 回「三番瀬専門家会議」開催結果概要

- 1 日 時 平成 23 年 8 月 4 日（木）午後 6 時 30 分から午後 8 時 25 分まで
- 2 場 所 市川市行徳文化ホール I&I 会議室
- 3 出席委員 5 名（市川委員、大西委員、岡安委員、古川委員、横山委員）
 - ・ 会議に先立ち、3 名の委員（市川委員、岡安委員、古川委員）に震災後の三番瀬の現状を視察していただいた。
 - ・ 会議の冒頭、会長に東京大学大学院・大西隆教授が選出された。
- 4 議事概要
 - ・ 議事として、「三番瀬自然環境調査」、「干潟的環境形成試験」、「市川市塩浜護岸改修工事」について、出席委員から助言をいただいた。
 - ① 三番瀬自然環境調査

震災により海底の地形に変化が生じていることから、早めに調査すべきであるといった意見や、三番瀬だけではなく東京湾周辺の水質や生物の調査結果も参考とすべきであるなどの意見が出された。
 - ② 干潟的環境形成試験

投入した土砂のマウンドが干出しなくなっていることから、本年度実施しているモニタリング調査において、追加で砂を盛ることについて検討するよう意見が出された。
 - ③ 市川市塩浜護岸改修工事

現在実施している護岸改修工事について、事実関係を確認する質問があり、県から回答を行った。

「三番瀬ミーティング」（11月13日）開催結果概要

- 1 日 時 平成23年11月13日（日）午後1時30分から午後4時35分まで
- 2 場 所 市川市行徳文化ホール I&I 大会議室
- 3 参加者 約70名
- 4 概 要 「第一部 活動の発表」、「第二部 意見交換会」の2部構成で開催

5 主な意見等

《震災後の三番瀬》

- ・ 浦安市日の出のコンクリート護岸が危険なので、早急に修繕してほしい。
- ・ ふなばし三番瀬海浜公園で観察会ができるよう早く入れるようにしてほしい。
- ・ 震災後の三番瀬は、東北地方の甚大な被害を受けた海岸再生のモデルケースになりうるので、是非、フィールドづくりにみんなで励んでほしい。

《三番瀬の保全》

- ・ 三番瀬をあるがままの姿で残してほしい。また、船橋市側のカキ礁が荒らされているので、防ぐ手立てを考えてほしい。

《ラムサール条約の登録》

- ・ ラムサール条約が進展していない。進まない理由を明確にほしい。

《漁業被害の低減》

- ・ 行徳可動堰の洪水時の出水問題を真剣に考えてほしい。
- ・ 青潮対策は、東京湾全体、流域全体で改善を考えていくべきだ。

《干潟の再生》

- ・ 人工干潟の造成で、これ以上海域を埋めるのはどうか。
- ・ 人工干潟を造ることが、三番瀬の再生につながるのか。

《その他》

県立船橋法典高校から教師及び生徒5名が出席し、ミーティングに参加した感想が述べられた。